

平成 29 年度第6回高石市介護保険事業等計画推進委員会

日時:平成 30 年2月9日(金)午後2時00分

場所:高石市役所別館3階 会議室311、312

開会

【事務局】時間となりましたので、ただいまより第6回高石市介護保険事業等計画推進委員会を始めます。  
本日配布しています資料の確認をお願いします。

(資料の確認)

よろしいでしょうか。皆様方におかれましては、本日ご多忙の中、委員会に出席いただきありがとうございます。  
ございます。それでは議事に入りますので、委員長、議事の進行をよろしくお願いいたします。

【委員長】皆様こんにちは。本日第6回の委員会となります。前回と同様に皆様からご意見をいただきながら  
進めていきますのでよろしくお願いいたします。本日の出席状況について報告をお願いいたします。

【事務局】本日の出席状況の確認ですが、本日は川井副委員長、岩田委員、嶋田委員、河原委員の4名  
が所要により欠席となっています。15名のうち11名が出席していただいております。半数以上の  
出席となっておりますので、本委員会は成立しています。次第に沿った形で進めていきます。

案件

議題1 高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画の概要について

【委員長】事務局より説明をお願いします。

【事務局】(事務局説明 高齢者福祉計画の説明)

【事務局】(事務局説明 保険料の説明)

【委員長】ただいま事務局より、パブリックコメントでの意見がなかったということと、概要版の説明、保険料の  
説明がありましたが、ご質問、ご意見はありますでしょうか。

【委員】パブコメ0件ということですが、それは第6期もパブコメは0件だったのでしょうか。以前は意見が出て、  
今回は0というのがいいのか、悪いのかはわかりませんが、以前はどうだったのでしょうか。0という  
ことに対して、どのように考えればいいのでしょうか。出来上がってしまっているものだからか、意見が  
ないのか、広報の仕方が問題だったのかわかりませんが、事務局としてはどう考えていますか。

【事務局】第6期の時は2件の意見をいただいています。今回0件でしたが、市民に広くお知らせした上で、  
意見が出なかったものと認識しています。

【委員長】前回は2件あったということで、今回は1月 22 日から2月5日まで、HPと公共施設で公表されたが、  
意見はなかったということです。

【委員】なければいいのですが、今回は 30 年度の法改正も伴い、わりと関心が高かったのではない  
かと思っています。0であったというのは、本当にいいものなのか、高石市が出しているこの計画が  
本当にいいものだったということで意見が出なかったのでしょうか。少し気になりましたので、意見を  
述べさせていただきます。

【委員長】ありがとうございます。ほかにありますか。

【委員】保険料の説明の中で、保険料の基準額がありますが、予定保険料収納率が 97.02%となっていま

すが、これはかなり厳しい数値だと思いますが、事務局としてどう考えているのでしょうか。

【事務局】介護保険料は、年金から天引きされる方と、納付書でお支払いされる方の2種類あります。年金からお支払いいただける方は100%の納入率となっています。年金加入者の方が多くを占めている関係から、高い収納率となっています。

【委員長】ありがとうございます。ほかにありますか。ご意見ないようでしたら、計画について認めていただくということでよろしいでしょうか。

#### 議事2 高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画の答申について

【委員長】本計画については、市長から諮問を受けていますので、今、各委員に答申案をお配りしています。事務局から読み上げていただきたいと思います。

【事務局】(事務局説明)

【委員長】以上が答申案ですが、この内容で市長に答申をしますが、よろしいでしょうか。

【委員一同】(意義なし)

【委員】了解を頂いたということで、これで答申をさせていただきます。

【事務局】お認めいただいた答申案については、後日、委員長から市長にお渡しいただく形で進めていきます。

#### 議題3 平成29年度認知症初期集中支援チーム検討委員会について

【委員長】事務局より説明をお願いします。

【事務局】(事務局説明)

【委員長】件数としては1桁ですが、内容としては初期とは名ばかりで、非常に細やかな支援が必要な内容となっており、それに対応されていることが分かりました。意見はありますか。

【委員】3年で20件となっており、それが多いのかはわかりませんが、支援の要請、近所からの要請ということでしたが、一番多いところは民生委員からなどだと思います。

【委員長】支援のきっかけを教えてください。

【事務局】直接での初期集中支援チームに助けの要望は、20件中0件となっています。それ以外のなんでも相談やいろんな方からのケースの相談を受けて、1度は訪問を地域支援センターか担当が行くようにして、このケースは初期集中支援チームとして取り扱って支援をしていこうということで、チームでかかわったのは20件ということです。初期集中支援チームがそこまで周知されていないところもあると思いますが、チームがあるから助けてほしいというのは0件が実情です。

【委員】掘り起こすと、もっと違うケースがあるということですね。

【委員長】ほかにありますか。

【委員】チームはどういう人ですか。

【事務局】市では、認知症地域支援推進員という役割の人が、6名います。その中の社会福祉士、介護福祉士、看護師又は保健師の3職種がチームになって訪問しています。

【委員長】チーム員は、女性、男性、混在していますか。

【事務局】訪問するのは全員女性です。ただし男性による支援が必要な場合は、社会福祉協議会の方や介護保険の事業者と協力して、介護保険へのつなぎという意味で、介護事業者の男性のスタッフ

に応援を要請して来ていただいております。

【委員】生活支援コーディネーターの人は、週1回訪問していただいているということですが、生活支援コーディネーターの方はどのくらいいるのでしょうか。

【事務局】高石市では、第1層、第2層まではできています。第1層は市町村の中にいる生活支援コーディネーターということになるので市職員を含め3名となっています。第2層は小学校区に1人、社会福祉協議会職員による配置がなされております。その中に各地域で開催されるコミュニティカフェの運営支援や地域資源の掘り起こし、新たな施策の研究ということで、毎月1回の会議をしています。生活支援コーディネーターについては、地域のコミュニティカフェが開催される時に行っていただけるメンバーごとで、校区の担当の方と協力者という形で2名以上の体制で地域の安否確認に行ってもらっていただいております。

【委員長】よろしいでしょうか。以上で案件は終わります。ご協力いただき、ありがとうございます。本日の委員会を閉会します。

#### 議題4 その他

【事務局】以上をもって平成29年度第6回高石市介護保険事業等計画推進委員会を終了します。来年度以降については文章等による報告をさせていただき、委員の皆様のご負担の軽減を進めてまいります。意見をいただかなければいけない場合は、ご連絡させていただきますので、ご参加のご協力をお願いいたします。本日は議事進行にご協力いただきありがとうございました。閉会いたします。